



そんけい すべき ムスリム の みなさま！

わたしたちのすうこうなしゅうきょうであるイスラームは、しんこう、すうはい、そしてぜんりょうなどうとくをぎむづけています。

しんこうには、わたしたちのそうぞうされたもくてきにしがってこうどうすることがかかかってきます。それは、じぶんのせきんをはたすためにどりよくすることをいみます。それは、わたしたちをとりかこむせかいでなにがおきているのかにたいしてびんかんになることです。せかいのどこであろうと、はくがいを受けるすべてのひとびとのもんだいにかんしんをもち、かれらのいたみをじぶんのこととしてこころにかんじとることです。

しんあいなるしんこうしゃのみなさま！

せいかつの中でのしんこうのあらわれに、れいはいがあります。れいはいとは、わたしたちをしゅのよろこびへとみちびくいつていのことばとこういのことです。それはぜんりのアッラーがあたえてくださるしゅくふくにたいする、わたしたちのかんしやをしめすものです。

わたしたちのあいするよげんしやムハンマド・ムスタファ (saw) は、かことみらいのつみをすべてゆるされていながら、たとえもつともこんななじょうきょうにあってもけつしてれいはいをないがしろにはしませんでした。

しんあいなるムスリムのみなさま！

わたしたちのしんこうをかんせいさせるのはどうとくです。それはけいじがくださったあとに、よげんしや (saw) がわたしたちにのこしたさいだいのいさんです。イスラームのほんじつはどうとくにあり、それはぜんりょうなにんげんであり、ぜんりょうなしゃかいであるためにはひつすのじょうけんです。

しんあいなるきょうだい、しまいのみなさま！

しんこうが、わたしたちのじんせいにいみをあたえてくれますように。れいはいのこういが、わたしたちのじんかくをきずきあげてくれますように。どうとくが、わたしたちのあらゆるこうどうのみちびきとなりますように。それではじめて、わたしたちのてはハラームから、めはつみから、したはうそからとおざかることになるでしょう。かぞくはへいあんとかうふくのみなもととなり、りんじんとのまじわりはしんらいとあいじょうのせいしんによってつづいていくでしょう。とりひきはハラールとなり、そのりえきにはバラカがもたらされるでしょう。そうしてはじめて、ちじょうにおいてよくあつされているひとびと、ぎせいとなっているひとびとすべてがえがおになり、せかいはへいわとはんえいのちでありつづけるでしょう。

ほんじつのホトバを、わたしたちのよげんしや (saw) のつぎのいのりをもっておわります。

「アッラーよ！ぜんこうをともなうつよいしんこうをわたしにさずけてください。えいえんのすくいへといたるおこないができるよう、わたしをたすけてください。」¹

¹ Ibn Hanbal, II, 321.